

平成30年第3回6月定例会

平成30年度補正予算（総額56億5,850万3千円）を可決
道前クリーンセンター整備調査特別委員会を設置

平成30年第3回6月定例会は、6月4日に開会し、会期19日間をもって6月22日に閉会しました。この間、市長提出の議案16件及び報告8件を審議し、定例会最終日の6月22日には、議案などの採決を行いました。

6月定例会では、6月11日及び6月12日の両日、議員17名が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に項目を整理して4ページから9ページにかけて掲載しています。

自民クラブ

堀江 幸二 議員



1 支所機能の在り方について
(一般質問)

市民の意見を把握して
支所機能の検討を！

問 支所機能の在り方を検討する際、最も大切なのは、市民の声に伝えることであり、市民の意見やニーズを把握しながら、誰もが利用しやすい庁舎の在り方を模索する必要がある。本庁方式に移行しても、総合支所庁舎を最大限活用するなど、住民サービスの上昇に努める必要があると思うが、支所機能の在り方について、市民の意見をどのように把握しているのか。

答

合併のメリットを最大限に生かすためには、本庁方式への移行が必要であると考えているが、新庁舎を建設した際の地域審議会では、市民から本庁方式に対するさまざまな意見をいただいた。こうした中、現在、市民協働によるまちづくりを目指し、地域の特性に応じた地域自治組織を確立しようとしていることから、地域住民との話し合いが不可欠な状況である。こういった話し合いの中で、支所機能の在り方も話し合われるものと考えており、結果、支所の形態が変わったとしても、身近な窓口サービスが低下しないよう体制を整えたい。



小松総合支所

坪井 剛 議員



(議案質疑)
1 CLT利用促進事業について
2 御舟川周辺整備事業について
3 権利の放棄について
(一般質問)
1 合併特例債適用期限の再延長について
2 一般財団法人愛媛県廃棄物処理センターエコニックス東予事業所について

CLT(直交集成板)の
更なる利用促進を！

問 CLTの利用促進の経費として、600万円計上しているが、どのような取組をしようとしているのか。

答 東京で開催される建築・建材展などに出展

し、全国の建築関係者に本市のCLTを認識していただけるよう広くPR活動を行うとともに、併せて商談の成約に向けた活動も実施することで、需要拡大を図りたい。

CLTの普及には、CLT建築設計者の育成が喫緊の課題であることから、県内の建築設計者を対象に、CLT建築の設計演習、技術講習会、セミナーなどを開催する予定である。

また、公共建築物の設計業務や建築審査業務に携わる市の技術職員を日本CLT協会などが開催するセミナーや講習会に派遣し、CLT建築に関する設計技術及び審査能力の向上を図りたい。



CLT(直交集成板)